



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社メイテックグループホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9744 URL <https://www.meitecgroup-holdings.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 正人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 山下 徹 TEL 050-3033-0945
定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月21日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	126,976	6.6	17,660	7.3	17,667	6.8	12,343	0.7
2023年3月期	119,069	11.1	16,462	28.4	16,540	27.7	12,252	32.6

(注) 包括利益 2024年3月期 12,869百万円 (3.2%) 2023年3月期 12,469百万円 (31.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	158.01	—	26.1	20.2	13.9
2023年3月期	153.87	—	26.6	19.9	13.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	90,761	47,696	52.6	617.78
2023年3月期	84,576	46,719	55.2	595.74

(参考) 自己資本 2024年3月期 47,696百万円 2023年3月期 46,719百万円

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	14,667	△1,064	△11,886	52,744
2023年3月期	12,808	△446	△11,040	51,028

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	39.00	—	63.00	102.00	8,065	66.3	17.6
2024年3月期	—	44.00	—	70.00	114.00	8,855	72.1	18.8
2025年3月期(予想)	—	88.00	—	100.00	188.00		120.0	

(注) 2025年3月期配当金の内訳 普通配当 158円00銭 記念配当 30円00銭 (創業50周年記念配当)

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	65,000	3.9	8,200	△4.9	8,200	△4.9	5,600	△2.6	72.53
通期	132,700	4.5	17,500	△0.9	17,600	△0.4	12,100	△2.0	156.72

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）株式会社メイテック 除外 1社（社名）

（注）株式会社メイテックは2023年10月1日付で、株式会社メイテック分割準備会社より商号変更しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	78,000,000株	2023年3月期	82,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	792,507株	2023年3月期	4,078,400株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	78,114,027株	2023年3月期	79,628,779株

（注）当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(12ヶ月間:2023年4月1日~2024年3月31日)においては、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類に変更され、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しているものの、緊迫した国際情勢、資源価格等の上昇など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社は、2023年10月1日付で持株会社体制へ移行し、株式会社メイテックグループホールディングスに商号変更しました。また、同日付でエンジニアリングソリューション事業を承継会社である株式会社メイテック(同日付で株式会社メイテック分割準備会社より商号変更)に承継しました。

当社グループの連結売上高9割超を占めるエンジニアリングソリューション事業を担うメイテック(MT)、メイテックフィルダーズ(MF)では、主要顧客である大手製造業各社が、次代を見据えた技術開発投資を進められたことから、受注が堅調に推移しました。また、中長期の成長を見据えた積極採用を継続した結果、2023年4月入社の新入社員824名(MT:459名、MF:365名)を含めて、2024年3月末のエンジニア社員数(MT・MFの合計)は12,253名(前年3月末比+347名、+2.9%)となりました。加えて、受注に応え、新入社員および既存社員の配属を促進した結果、稼働人員数の増加と稼働率の向上を両立しました。なお、時間外労働の減少等により、稼働時間は前年同期で若干低下しました。

その結果、連結売上高は、前年同期比79億7百万円(6.6%)増収の1,269億76百万円となりました。連結売上原価は、エンジニア社員の増員に伴う労務費増加等により、前年同期比63億81百万円(7.4%)増加の927億41百万円、連結販売費及び一般管理費は、前年同期比3億28百万円(2.0%)増加の165億73百万円となり、その結果、連結営業利益は、前年同期比11億97百万円(7.3%)増益の176億60百万円となりました。連結経常利益は、前年同期比11億26百万円(6.8%)増益の176億67百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比90百万円(0.7%)増益の123億43百万円となりました。

詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2024年3月期決算説明資料」を参照下さい。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、2023年10月1日付の持株会社体制移行に伴い、当連結会計年度より、セグメント区分を従来の「エンジニアリングソリューション事業」及び「エンジニア紹介事業」の2区分から、「エンジニアリングソリューション事業」、「エンジニア紹介事業」及び「その他」の3区分に変更しております。

① エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働人員数の増加と稼働率の向上を背景に、売上高は、前年同期比81億54百万円(6.9%)増収の1,256億10百万円となりました。営業利益は、前年同期比12億23百万円(7.7%)増益の171億39百万円となりました。

稼働率(全体)については、MTは97.7%(前年同期97.2%)、MFは95.5%(前年同期93.3%)と前年同期で増加しました。稼働時間については、MTは8.33h/day(前年同期8.38h/day)、MFは8.21h/day(前年同期8.26h/day)と前年同期で若干減少しました。

② エンジニア紹介事業

エンジニアに特化した職業紹介事業を行っている株式会社メイテックネクストにおいては、紹介決定数の減少により、売上高は、前年同期比2億82百万円(16.8%)減収の13億98百万円、営業利益は前年同期比88百万円(16.1%)減益の4億58百万円となりました。

③ その他

当社メイテックグループホールディングスのグループ運営に関する事業においては、売上高は、25億26百万円、営業利益は22億10百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末(2024年3月31日)の資産合計は、前連結会計年度末(2023年3月31日)比で61億85百万円増加し、907億61百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で52億82百万円増加した事が要因です。

なお、流動資産の増加は未収消費税等の増加などが主因です。

②負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末比で52億7百万円増加し、430億64百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で49億66百万円増加し、固定負債が前連結会計年度末比で2億40百万円増加した事が要因です。

なお、流動負債の増加は賞与引当金や未払法人税等、未払消費税等の増加などが主因であり、固定負債の増加は退職給付に係る負債の増加が主因です。

③純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末比で9億77百万円増加し、476億96百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する当期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺された事などが主因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比17億16百万円増加の527億44百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度比18億59百万円増加の146億67百万円となりました。

得られた資金の主な内訳は、税金等調整前当期純利益などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は、前連結会計年度比6億18百万円増加の10億64百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、長期前払費用の取得による支出7億88百万円です。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は、前連結会計年度比8億46百万円増加の118億86百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、自己株式の取得による支出35億円と配当金の支払額83億85百万円です。

(4) 今後の見通し

堅調な受注環境の持続を前提に、積極採用によるエンジニア社員の増員などを見込み、2025年3月期の連結業績予想を公表しています。

なお、現時点の業績予想の詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2024年3月期決算説明資料」を参照下さい。

ご注意：本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は国内中心であることから、当面は、日本基準を適用する方針です。ただし、今後も、投資家の要望や国内他社のIFRS(国際財務報告基準)の採用動向などを踏まえ、会計基準の選択に関する検討を継続する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,028	52,744
受取手形及び売掛金	17,354	18,215
仕掛品	172	174
未収消費税等	—	2,432
その他	928	1,203
貸倒引当金	—	△4
流動資産合計	69,484	74,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,124	3,005
工具、器具及び備品（純額）	173	163
土地	1,487	1,487
その他（純額）	0	—
有形固定資産合計	4,785	4,656
無形固定資産		
ソフトウェア	325	258
その他	44	145
無形固定資産合計	369	403
投資その他の資産		
投資有価証券	27	27
繰延税金資産	8,994	9,356
その他	916	1,564
貸倒引当金	△2	△15
投資その他の資産合計	9,935	10,933
固定資産合計	15,091	15,993
資産合計	84,576	90,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払費用	3,804	4,467
未払法人税等	2,694	3,674
未払消費税等	2,749	4,949
役員賞与引当金	181	131
賞与引当金	9,955	10,612
その他	1,440	1,956
流動負債合計	20,824	25,791
固定負債		
退職給付に係る負債	17,032	17,273
固定負債合計	17,032	17,273
負債合計	37,856	43,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	1,259	1,259
利益剰余金	49,207	43,554
自己株式	△7,795	△1,691
株主資本合計	47,671	48,122
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662	△662
退職給付に係る調整累計額	△289	236
その他の包括利益累計額合計	△951	△425
純資産合計	46,719	47,696
負債純資産合計	84,576	90,761

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	売上高	119,069	126,976	
売上原価	86,360	92,741		
売上総利益	32,708	34,234		
販売費及び一般管理費	16,245	16,573		
営業利益	16,462	17,660		
営業外収益				
受取利息	1	1		
助成金収入	75	29		
その他	13	13		
営業外収益合計	89	44		
営業外費用				
貸倒引当金繰入額	0	9		
支払手数料	8	5		
コミットメントフィー	2	2		
その他	0	20		
営業外費用合計	11	37		
経常利益	16,540	17,667		
特別利益				
固定資産売却益	—	0		
特別利益合計	—	0		
特別損失				
減損損失	—	3		
固定資産除却損	3	3		
特別損失合計	3	6		
税金等調整前当期純利益	16,537	17,660		
法人税、住民税及び事業税	4,916	5,909		
法人税等調整額	△630	△592		
法人税等合計	4,285	5,317		
当期純利益	12,252	12,343		
親会社株主に帰属する当期純利益	12,252	12,343		

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	当期純利益	12,252	12,343	
その他の包括利益				
退職給付に係る調整額	217	526		
その他の包括利益合計	217	526		
包括利益	12,469	12,869		
(内訳)				
親会社株主に係る包括利益	12,469	12,869		

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,627	44,865	△7,035	46,457
当期変動額					
剰余金の配当			△6,837		△6,837
親会社株主に帰属する当期純利益			12,252		12,252
自己株式の取得				△4,201	△4,201
自己株式の消却		△2,367	△1,073	3,440	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,367	4,342	△760	1,213
当期末残高	5,000	1,259	49,207	△7,795	47,671

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△662	△506	△1,169	45,287
当期変動額				
剰余金の配当				△6,837
親会社株主に帰属する当期純利益				12,252
自己株式の取得				△4,201
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	217	217	217
当期変動額合計	—	217	217	1,431
当期末残高	△662	△289	△951	46,719

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	1,259	49,207	△7,795	47,671
当期変動額					
剰余金の配当			△8,391		△8,391
親会社株主に帰属する当期純利益			12,343		12,343
自己株式の取得				△3,500	△3,500
自己株式の消却			△9,604	9,604	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△5,652	6,104	451
当期末残高	5,000	1,259	43,554	△1,691	48,122

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△662	△289	△951	46,719
当期変動額				
剰余金の配当				△8,391
親会社株主に帰属する当期純利益				12,343
自己株式の取得				△3,500
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	526	526	526
当期変動額合計	—	526	526	977
当期末残高	△662	236	△425	47,696

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,537	17,660
減価償却費	411	370
減損損失	—	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	16
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△57	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,093	657
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	711	997
受取利息及び受取配当金	△1	△1
助成金収入	△75	△29
固定資産除却損	3	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,255	△870
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6	△2
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△2,432
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	24	△277
未払費用の増減額 (△は減少)	495	663
未払消費税等の増減額 (△は減少)	276	2,201
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	47	528
その他	102	536
小計	18,319	19,974
利息及び配当金の受取額	1	1
法人税等の支払額	△5,588	△5,339
法人税等の還付額	0	1
助成金の受取額	75	29
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,808	14,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△130	△104
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△156	△156
固定資産の除却による支出	△0	△1
長期前払費用の取得による支出	△125	△788
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△33	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446	△1,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4,209	△3,500
配当金の支払額	△6,830	△8,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,040	△11,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,321	1,716
現金及び現金同等物の期首残高	49,706	51,028
現金及び現金同等物の期末残高	51,028	52,744

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

2023年10月1日付の持株会社体制への移行に伴い、当連結会計年度より、セグメントの区分を従来の「エンジニアリングソリューション事業」及び「エンジニアリング紹介事業」の2区分から、「エンジニアリングソリューション事業」、「エンジニアリング紹介事業」及び「その他」の3区分に変更いたしました。また、従来「エンジニアリングソリューション事業」に区分しておりました持株会社である当社は「その他」に区分変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、持株会社体制移行後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。各事業の概要は、下記のとおりであります。

「エンジニアリングソリューション事業」については、エンジニア派遣事業を中心に行っております。

「エンジニア紹介事業」については、エンジニアに特化した職業紹介事業を行っております。

「その他」については、当社メイテックグループホールディングスのグループ運営に関する事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアリングソリューション事業	エンジニア紹介事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	117,446	1,622	—	119,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	58	—	68
計	117,456	1,681	—	119,137
セグメント利益	15,915	547	—	16,462
セグメント資産	82,498	2,091	—	84,590
その他の項目				
減価償却費	403	8	—	411
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	198	4	—	203

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアリングソリューション事業	エンジニア紹介事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	125,607	1,369	—	126,976
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	29	2,526	2,560
計	125,610	1,398	2,526	129,536
セグメント利益	17,139	458	2,210	19,809
セグメント資産	66,455	765	23,625	90,846
その他の項目				
減価償却費	293	6	69	370
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	243	9	—	252

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	119,137	129,536
セグメント間取引消去	△68	△2,560
連結財務諸表の売上高	119,069	126,976

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,462	19,809
セグメント間取引消去	—	△2,148
連結財務諸表の営業利益	16,462	17,660

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	84,590	90,846
セグメント間取引消去	△14	△85
連結財務諸表の資産合計	84,576	90,761

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	411	370	—	—	411	370
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	203	252	—	—	203	252

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	595.74円	617.78円
1株当たり当期純利益金額	153.87円	158.01円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2. 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	12,252	12,343
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	12,252	12,343
普通株式の期中平均株式数(千株)	79,628	78,114

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計(百万円)	46,719	47,696
純資産の部の合計額から控除する金額(非支配株主持分)(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	46,719	47,696
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	78,421	77,207

(重要な後発事象)

該当事項はありません。